1 事業者の氏名等

 事業者の氏名町田市

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)町田市長石阪丈一

 事業者番号A0953

2 報告する事業所等の全体の状況(2022年度の状況)

条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数			原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計		kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	0 =	事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	9,782	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等		義務提出事業所等		全事業所
----------	--	----------	--	------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

					2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
合詞	十二四	酸化炭	素排品	出量	10,206.00	10,084.00	9,338.00	10,611.00	9,782.00	t
合	計	延床	ミ 面	積	222,741.08	221,083.54	219,869.45	241,179.08	220,565.71	m²
合	計	原	単	位	45.82001	45.61171	42.47065	43.99635	44.34959	kg-CO ₂ /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率		%
平均合計原単位改善率	0.81	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 数	5	事業所
再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 率	11.9	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価		ランク
-----------------	--	-----

実績年度のの状況 □ 目標達成した。 9 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 ■ 有 □ 無 合計二酸化炭素排出量削減率 % 合計原単位改善率 % 再生可能エネルギー導入事業所率 % そ の 他 特記事項に内容を記載 10 地球温暖化対策のレベル				(裏	3)			
日 標 産 版 の 末 紀 9 提出年度の地球温暖化対策の目標 日 標 の 有 無 ■ 有 □ 無 合 計 原 単 位 改 善 率 再生可能エネルギー導入事業所率 そ の 他 特記事項に内容を記載 10 地球温暖化対策のレベル 重 点 対策 のレベル 1 事業者としての取組 取組力針 「取組力針 「取組力分 「対策名 「対策者 「対策名 「対策者 「対策名 「対策者 「対策名 「対策者 「対策名 「対策者 「	実 績 年 度	Ø _		を成〕た]			
目標の有無■有□無 合計二酸化炭素排出量削減率 合計原単位改善率 再生可能エネルギー導入事業所率 その他特記事項に内容を記載 10地球温暖化対策のレベル 重点対策のレベル 11事業者としての取組 取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 類類を配慮でである。 単点対策 その他対策 対策各 対策名 対策番号 対策名 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の標準 A102 温暖化対策がある設定 A105 取組内容や点検体制の定期的改訂 A103 具体的な取組目標と内容の設定 A105 取組内容や点検体制の定期的改訂	目標達成の判	犬 況 <u></u>	口 1示 5					
合 計 一酸 化 炭 素 排 出 量 削 減 率	9 提出年度の地	球温暖化效	策の目	標	1			
合計原単位改善率 再生可能エネルギー導入事業所率 その他特記事項に内容を記載 10 地球温暖化対策のレベル 重点対策のレベル 11 事業者としての取組 取組方針	目標の有	無■	有	□ 無				
再生可能エネルギー導入事業所率 そ の 他 特記事項に内容を記載 10 地球温暖化対策のレベル 重 点 対 策 の レ ベ ル 1 11 事業者としての取組 取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 重点対策	合計二酸化炭素	排出量削	減率			%		
10 地球温暖化対策のレベル	合 計 原 単	位改善	卓 率			%		
10 地球温暖化対策のレベル 重 点 対 策 の レ ベ ル 1 11 事業者としての取組 取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 重点対策 その他対策 対策番号 対策名 対策番号 対策名	再生可能エネルギ	一導入事業	美所率			%		
重点対策のレベル 1 11 事業者としての取組 取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 重点対策 その他対策 対策番号 対策名 対策番号 対策名 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の構築 A102 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善 A103 具体的な取組目標と内容の設定	- そ の)	他	特記事項	頁に内容を	記載		
重点対策のレベル 1 11 事業者としての取組 取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 重点対策 その他対策 対策番号 対策名 対策番号 対策名 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の構築 A102 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善 A103 具体的な取組目標と内容の設定	10 地球温暖化支	対策のレベ	· ル				•	
取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 重点対策 その他対策 対策番号 対策名 対策番号 対策名 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の構築 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善整備の状況 具体的な取組目標と内容の設定								
取組方針 環境配慮行動計画に基づいて、市として地球温暖化防止活動に各事業所ごとに積極的に取り組む。 重点対策 その他対策 対策番号 対策名 対策番号 対策名 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の構築 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善整備の状況 具体的な取組目標と内容の設定								
取組力計 的に取り組む。 重点対策 その他対策 対策番号 対策名 対策名 対策名	11 事業者として	の取組						
対策番号 対策名 対策番号 対策名 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の構築 A102 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善 整備の状況 具体的な取組目標と内容の設定	取組方針		it.		て、市として	地球温暖	受化隊	
組織体制の整備の状況 A101 地球温暖化対策の方針等の設定 A104 取組状況の点検体制の構築 A102 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善 A103 具体的な取組目標と内容の設定		1166	Ī			1.1.644		
組織体制の整備の状況 A102 温暖化対策推進担当の配置 A105 取組内容や点検体制の定期的改善 A103 具体的な取組目標と内容の設定			₩¥\$%目□			-		
整備の状況 A103 具体的な取組目標と内容の設定	9月2年11月							
12 特記事項	組織体制の 整備の状況					AIC	,,,	2007年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17年17
12 特記事項								
	12 特記事項							

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。

1 事業所等の概要

所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 報 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 七場 □ 本標準産業分類 8 5 5 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非認 □ 非正式 はる細分類番号 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 京の受入 □ 証書による環境価値 の利用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ □ 証書による環境価値		7 / 1 7/2																						
〒 1 9 4 一 0 0 2 1 区市町村名 東京都町田市	事	業所	等	の名	称	子と	ごも多	逢	セン	ター	•													
事業所等の所在地 Ta	事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	0	1									
以							1	9	4	_	0	0	2	1	区	市	町	村	名	東京都町	田市			
T	事	業所	等 ₫	所在	地		名 番	F 地 下	中町															
報 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他 □ 本標準産業分類 8 5 5 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非正式における細分類番号 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書による環境価値の利用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ □ 証書による環境価値の利用	事	業所等	等の)	延床面	ī積		3	,618	.12	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の 	実 <i>i</i> 使	績 [〕	年月			■ 1年月	度分] 1 ⁴	F未満
報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 広場 □ 複合施設 □ 複合施設 □ をの他 □ 本標準産業分類 8 5 5 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非における細分類番号 □ 再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書による環境価値の利用	所	有	•	形	態		自己	引所不	有 有		〕他	者別	桁											
報告範囲の主たる用途 □ 工場 □ 複合施設 □ 本標準産業分類 8 5 5 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 □ 加盟店 □ 非認力を指する。 □ 非認力を表す。 □ 非認力を表す。 □ 非認力を表す。 □ 非認力を表す。 □ 前書による環境価値のの利用 状況	報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ント	·)			〕建物⊄	一部	3(そ	の他	ī)
□ 工場 □ 複合施設 ■ その他 日本標準産業分類 8 5 5 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非認 □ 新生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値の設置 □ 気の受入 □ の利用	却	北	I A F	ナーフロ	1 ンク		事務	骄					商業	纟施言	没(物原	反)] 商業旅	起設(1	飲食	:)	
における細分類番号 8 5 5 9 単興化事業区分 □ 恒宮店 □ 加温店 ■ 非正再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値の 利 用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用	半区	古軋世	リリノユ	:たる月	1 述		工場	<u>크</u>					複合	施	没					その他	Ţ			
の利用状況 発電設備の設置 気の受入 の利用	に	おける	細	分類番	号	8	_	_	_			2事美	美区 2	分		l <u>I</u>	直営	店		□ 加盟	店		■非	該当
前年度の報告内容	1										_					ネル	ギ	一電	Ĺ			環境	竟価値	直
からの変更点							·	·	·	·														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 77	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 147	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 40.6	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000) × 7	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	23,829.0	45.00	1,072.3	0.0136	53.5
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	び その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2002	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	192,426.0	9.97	1,918.5	0.4890	94.1
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,990.8		¹⁵ 147.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,436.0			0.2660	0.6
他	(1			m^3	2,436.0	/		0.4000	1.0
		合 計							1.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	批拌泪	暖化対策(7 実 協 出 沿
4	THE TAX (IIII	ᄧᅜᅜᅜᅜᅜ	' J - T- MILAN (7)

4	地球温暖化对策	マン天心か		1	7 0 16 11 14
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	織体制の整備				
	ネルギー等の 用状況の把握		自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギ	運用対策	C101 C303 C305	空室・不在時等のこまめな消灯 個室等不使用箇所のこまめな消灯 利用状況に応じた空調の設定変更		
]	設備保守対策	D101 D103 D104 D106	ランプ等の定期的な清掃・交換 中央熱源機器等の定期点検の実施 空調フィルターの清掃・点検 ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。 節電対策について・利用者の体調に留意しながら冷房の調整を行う。・エレベーターの使用を最小限に抑える。・消灯しても影響の小さい箇所は消灯する。・PC のディスプレイの輝度を落とす。・時間外勤務による館内電力消費削減。

1 事業所等の概要

事	業月	斤 等	の名	称	せり	がる	や会:	館														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	0	2	Ī							
_	ے علاد	h-h-	s =r +	→ 116	Ŧ	1	9	4	_	0	0	1	3	区	市	町	村	名	東京都町田市	村		
事 	兼 所	等 (の所有	上地	町。以	名 番	地下	原町	「⊞4													
事	業所	等の	延床面	面積		4	,064	.94	m^2	事	業	下等レキ	の <u>:</u> _	実 ¾ · 使	漬 [年月	度期	の間	■ 1年度分	>		1年未満
所	1	1	形	態		自己	1所7	钉] 他	1.者页	沂有										
報	. <i>-</i>	片	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	部(ラ	テナ	ント)			〕建物の一	部(その	他)
報	告節	用の言	Eたる 月	目途		事務							単施		ಶ貝	反)			〕商業施設	(飲	食)	
						工場	<u>ヨ</u> ガ					複合	計施記	設					その他			
	おけ	る細	を業分 分類る	昏号	8	5	9	9	連	鎖化	と事業	業区:	分		诓	I 営	店		□ 加盟店			非該当
再の	生可利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			三可能 記設備		ルギ 置	_			三可能)受入		ネル	ギ	一電	î î	□ 証書に』 の利用	にる環	環境促	面值
前か			设 告 卢 変 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 57	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 110	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 111	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 27.0	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			区川		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	21,473.3	45.00	966.3	0.0136	48.2
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
<i>T</i> (1)	その他(A重油)			L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	127,656.0	9.97	1,272.7	0.4890	62.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,239.0		110.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,710.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,710.0	/		0.4000	0.7
		合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A202	温暖化対策推進担当の配置		
織体制の整備				
	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
I	C101	空室・不在時等のごまめた消灯		
		空室・不在時等の空調停止		
	C402	利用状況に応じた空調の設定変更		
	C409	季節に応じた温度設定の見直し		
運用対策	C413	水道メータ等で漏水の有無の点検		
	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
以 州 水 1 八 水	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
設備導入対策				
	設備保守対策	織体制の整備 ネルギー等の用状況の把握 C101 C109 C402 C402 C409 C413 設備保守対策 D101 D103 D104 D106	対策番号 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 A202 温暖化対策推進担当の配置 A202 温暖化対策推進担当の配置 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C109 空室・不在時等の空調停止 C402 利用状況に応じた空調の設定変更 C409 季節に応じた温度設定の見直し 水道メータ等で漏水の有無の点検 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検 D106 ボイラ等の定期点検の実施 D106 ボイラ等の定期点検の実施 D106 ボイラ等の定期点検の実施 D106 ボイラ等の定期点検の実施 D106 スポース・スポース・スポース・スポース・スポース・スポース・スポース・スポース	対策番号 対策名 対策番号 A202 温暖化対策推進担当の配置

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。 節電対策について具体的な節電対策:①通路の間引き照明の実施(4%)②冷房時の室内温度28度設定の徹底(4%)③不在エリアの空調・照明の停止(8%)

1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	ふれ	しあり	ハ桜	館														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	0	4								
Ī.					Ŧ	1	9	4	_	0	2	0	2	区	市	町	村	名	東京都町田	市		
事	業所	等 σ.	所 在	地	町以以	名 番	i 地 下	下小	山田													
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		2	,823	.77	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の - -	実 <i>i</i> 使	績 [年 刊 :		の間	■ 1年度分	分		1年未満
所	有		形	態		自己	別所不	有		〕他	1者別	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ、	ン	\)			□建物の−	一部	(その)他)
報	告範囲	の主	こたる月	建		事務							έ施i		物	扳)				设(飲	(食)	
		※ 寸	r 게수 V	北江		工場	ग					複合	î他i	文					その他			
	本 標 おける	細	分類番	号	8	5	4	9			/事業	美区 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟店	i		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギ	一電		□ 証書に の利用	よる	環境	価値
前か	年度らる	の 報 り <i>変</i>		容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 87	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 165	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 167	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 58.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			区川		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	5,191.9	45.00	233.6	0.0136	11.7
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油))他(軽油)		L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2003	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	315,562.0	9.97	3,146.2	0.4890	154.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,379.8		166.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,133.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	4,053.0			0.4000	1.6
		合 計							⁽¹⁶⁾ 2.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
組糸	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
エク使り	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
省					
エネルギ					
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。指定管理者が管理・運営しています・老人施設のため冷房の使用はあるが、電気使用量削減を意識し、節電に努めている。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	本門	丁田	高齢	者	在宅	サー	ービフ	スセン	ノタ、	_							
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	2	8							
					Ŧ	1	9	4		0	0	3	2	区ī	市町	村々	名 東京	不都町田	市		
事	業所	等 0	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	本町	1田2	102 ·	-1										
事	業所等	争の	延床面	ī積			999	.91	m^2	事	業	了等 レギ	の 	実 績 使	責年 用:	度 <i>(</i> 期 間	D 目	1年度分	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所不	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)			生物の-	-部(その	他)
华口	告範囲	ı m i	ーたスH	1.2		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	원(飲	(食)	
羊区	口即进	Vノ ゴ	ニにつカ	1 还		工場	<u>=</u> 7					複合	施調	没			■ そ	一の他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	5	4	3	連	鎖化	/事	美区 2	分		直営	店		加盟店	i		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ fの設	ルギ 置	_		再生 気の	可能 受入	エネ 、	ベルギ	一電		証書に の利用	よる芽	環境促	話値
前か	年度らの		设 告 内 変 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 51	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 98	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 99	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 98.0	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	15,273.1	45.00	687.3	0.0136	34.3
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)	他(軽油)		L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
76%	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	130,448.0	9.97	1,300.6	0.4890	63.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 1,987.9		98.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,893.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,893.0	/		0.4000	1.2
		合 計							1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
組糸	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	L , 12 th o	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C109	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C510	その他設備の不使用時の停止
	 運 用 対 策				
省					
エネ					
ルギ					
ì 対		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策				
				F1.16	
				E142	太陽熱利用設備の導入
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の2030年度までに、基準年度である2013年度比で46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。指定管理者が管理・運営しています・利用者のいるスペースの空調は、27℃を基準の温度としてその日の状況を見ながら随時設定を変更する。・ゴーヤ等でグリーンカーテンを作り、日照対策とする。・使用していない場所の照明は落とし、使用する場所の照明も照度が不均衡にならないよう留意しながら間引き点灯にしている。・電力のデマンド計設置による使用状況の可視化で電力の適正使用管理を行っている。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	玉丿	学	園高	齢	者在	宅サ	Ի —	ごスー	セン	ター				
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	2	9				
					Ŧ	1	9	4	_	0	0	4	1	区ī	† 町	村名	東京都町田市	
事	業所	等 0	所 在	地	町。以	名 番	地 下	玉川	学園]3-:	35-	1						
事	業所等	争の	延床面	ī積		1	,383	.30	m^2						責年 <i>,</i> 用			□ 1年未満
所	有		形	態		自己	引所不	钉] 他	1.者页	桁						
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一部	『(その他)
华口	告範囲	i on ti	ーたス日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(牧	刃販)		□ 商業施設(飲食)
和	口軋团	V ノ ゴ	ニルのカ	7 0匹		工場	크 7					複合	施調				■ その他	
に	本 標: おける	細	分類番	号	8	5	4	3	連	鎖化	(事)	美区 2	分		直営	店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			:可能 記設備		ルギ 置	_		再生 気の	可能 受入	エネ 、	ルギー	一電	□ 証書による の利用	る環境価値
前か	年度らの		设	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 58	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 113	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 81.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別						熱量		炭素排出量
				単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	尔	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	9,130.1	45.00	410.9	0.0136	20.5
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	で その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
Thi	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	139,792.0	9.97	1,393.7	0.4890	68.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	51,069.0	9.28	473.9	0.4890	25.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,278.5		113.8
その	その他水道及び工業用水道公共下水道			m^3	4,484.0			0.2660	1.2
				m^3	4,484.0	/		0.4000	1.8
		合 計							3.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

	<u>地球価坡化对外</u>	. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
組糸	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供				
	ネルギー等の用状況の把握		自ら入手可能な情報に基づく把握						
省エネルギ	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯						
1	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検						
	設備導入対策								

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t		
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。・指定管理者が管理・運営しています。・窓側に日除けシェードを設置し、日差しを遮ることでエアコンの室温調整に役立ています。・排気ガスの排出量を減らすため、送迎車のより効率的な運行を心がけています。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	健原	表福	祉会	館												
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	3	2						
					Ŧ	1	9	4	_	0	0	1	3	区ī	市 町	村名	東京都	町田市		
事	事業所等の所在地 町名番地 以																			
事	業所等	争の	延床面	ī積		4	,429	.04	m^2		業 ア ネ ル				責年 用:	度 <i>ℓ</i> 期 ॄॄ		三度分		1年未清
所	有		形	態		自己	別所不	有] 他	1者列	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一音	邪(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物	の一部	3(その	り他)
华口	告範囲	i on ti	一たて日	1 1/2		事務	骄					商業	能施	没(物	か販)		□ 商業	施設(1	飲食)	
平区	口型	V ノ ゴ	ニバンカ	7 0匹		工場	1 7					複合	施調	没			■ その	他		
	本標				9	8	2	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		直営	店	□ 加.	盟店		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ fの設	ルギ 置	_		再生 気の			バルギ	一電		書による 利用	環境	価値
前か	年度らの			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 94	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 183	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 184	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 41.3	kg-CO ₂ /m ²

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			区/11		6	7	8=(6/1000)×7	9	(10)=(8)×(9)×44/12
.1441.	都市ガス			Nm^3	3,760.3	45.00	169.2	0.0136	8.4
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	び その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
mi	*** その他(A重油)			L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	280,148.0	9.97	2,793.1	0.4890	137.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	77,151.0	9.28	716.0	0.4890	37.7
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則]第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,678.2		¹⁵ 183.2
その	を の 他 水道及び工業用水道 公共下水道			m^3	1,923.0			0.2660	0.5
				m^3	1,923.0	/		0.4000	0.8
		合 計							1.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2%(7111111111111111111111111111111111111	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

	地球	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A202	温暖化対策推進担当の配置				
組組	織体制の整備						
))) (i)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握				
	ネルギー等の用状況の把握		エネルギー使用量の前年度比較				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯				
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止				
		C114	事務用機器を省エネモードに設定				
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯				
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更				
省		C506	余熱利用による早めの空調停止				
ロエネ		C508	空室・不在時等の空調停止				
ル							
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換				
対	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施				
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検				
		D106	ボイラ等の定期点検の実施				
	 設備導入対策						
	12 VIII 11 7 17 17 18						

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制の ための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。 節電対策について医療機関である保健センター、町田市医師会休日・準夜急患こどもクリニック及び町田市歯科医師会休日歯科・障がい者歯科応急診療所を 除くエリアにおいて、下記の節電対策を実施 ①照明の30%程度間引き実施②室内温度28℃の徹底③離席時OA機器の節電実施④日射遮へい措置の実施

1 事業所等の概要

事業所等の名称 町田市民フォーラム 事業所番号A0953-0037								
事 業 所 番 号 A 0 9 5 3 - 0 0 3 7								
〒 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都町田市	î							
事業所等の所在地 町名番地 以								
事業所等の延床面積 4,465.08 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分	□ 1年未満							
所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有								
報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部	郛(その他)							
報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)							
報告郵囲の主たる用途								
日本標準産業分類 9 8 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店	■ 非該当							
再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書によの 利 用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 の利用	る環境価値							
前年度の報告内容からの変更点								

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	169	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	322	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	324	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	72.1	$kg-CO_2/m^2$

			推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,156.7	45.00	637.0	0.0136	31.8
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)		L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0	
Thi	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	595,244.0	9.97	5,934.6	0.4890	291.1
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 6,571.6		322.8
その	水道及び工業		m^3	3,554.0			0.2660	0.9	
				m^3	3,554.0	/		0.4000	1.4
		合 計							2.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2%(7111111111111111111111111111111111111	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

4	地球温暖化对策	り天地か			
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築		
幺日幺	職体制の整備				
孙丑.	戦 仲 町 り 笠 浦				
	La Fra	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
工	ネルギー等の 用状況の把握				
	11 // 10 10 10				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	運 用 対 策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策				
巾巾	成 佣 体 竹 刈 來				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	 設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無				_			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載	寺記事項に内容を記載					

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の2030年度までに、基準年度である2013年度比で46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。節電対策として、事務所・廊下の照明の間引き、窓ガラスに遮熱フィルム施行を行っている。

1 事業所等の概要

	J / []		- 100																				
事	業月	〒 等	の名	称	町目	日市	民ホ	、 ーノ	レ														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	4	2									
					Ŧ	1	9	4		0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都岡	町田市	ĵ		
事 	事業所等の所在均			地	町。	名 番	地下	森野	F2-	2-3	6												
事	業所	等の	延床面	〕 積		6	,651	.02	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 <i>?</i> · 使	績	年 用 :	度期	の間	■ 1年	度分			l年未満
所	有	Î	形	態		自己]所	有] 他	者別	斤有											
報	ᅼ		範	囲		建物	 カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ン	١-)			〕建物	の一节	部(-	その	他)
報	告節用	目の主	こたる月	計余		事務	所					商業	É施	没(5	物	坂)			〕商業	施設((飲:	食)	
						工場	<u>司</u> 切					複合	产施	没					■ その(他			
に	おけれ	る細さ	€ 業 分分 類 番	号	8	0	2	1	連	鎖化	(事業	業区:	分] į	直営	店		□加!	盟店		= ;	非該当
再の		能エ用	ネルキ 状	· 況				エネ fの設	ルギ 置	_			三可能)受入		ネノ	レギ	一貫	Ė		書によ 利用	る環	:境征	近
前か			设 告 内 変 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 65	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 125	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 125	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 18.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	29,740.1	45.00	1,338.3	0.0136	66.7
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)		L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0	
Thi	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	120,348.0	9.97	1,199.9	0.4890	58.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,538.2		125.6
その	水道及び工業		m^3	173.0			0.2660	0.0	
他	公共下水道			m^3	173.0	/		0.4000	0.1
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

$\frac{4}{}$	地球温暖化对策	マッチ心小 I		2の仲封竿					
			重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A202	温暖化対策推進担当の配置						
公 日 ≤	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定						
形丘. i		A204	取組状況の点検体制の構築						
	L , 12 M	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握						
	ネルギー等の用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握						
	11 4/ 100 vo 10 10=	B105	エネルギー使用量の前年度比較						
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯						
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更						
		C109	空室・不在時等の空調停止						
		C114	事務用機器を省エネモードに設定						
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯						
省		C504	利用状況に応じた空調の設定変更						
ュニ		C506	余熱利用による早めの空調停止						
ネ		C508	空室・不在時等の空調停止						
ルギ									
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換						
対	 設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施						
策	設 慵 休 寸 刈 束	D104	空調フィルターの清掃・点検						
		D106	ボイラ等の定期点検の実施						
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)						
	1. 供道 7. 共变	E103	高効率照明器具の採用(屋内)						
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用						

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	_	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。

館内照明のLED化及び省エネ型トイレの採用を進め、照明機器の点灯調整や空調機器の温度管理を適切に行っている。

1 事業所等の概要

事業所等の名称 町田市授産センター 事業所番号A099530-00076 〒1940-000350 京業所等の所在地 町名番地 忠生3丁目6-22	
〒 1 9 4 - 0 0 3 5 区市町村名東京都町田市 事業所等の所在地町名番地中は3丁目6-22	
事業所等の所在地町名番地中生37月6-22	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
以 下 ^{上 2 1}	
事業所等の延床面積 1,562.85 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 [] 1年未満
所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有	
報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(そ	·の他)
お は 毎 田 の 主 た る 田 冷 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食	E)
報告範囲の主たる用途 □ 工場 □ 複合施設 ■ その他	
における細分類番号 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	▮非該当
再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー	竟価値
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 43	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	(4) 84	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	53.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(不致 ⑨	(t) 10=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	13,434.6	45.00	604.6	0.0136	30.1
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
200	ででである。その他(A重油)			L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	109,067.0	9.97	1,087.4	0.4890	53.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,692.0		83.5
その				m^3	1,677.0			0.2660	0.4
の 他 公共下水道				m^3	1,677.0			0.4000	0.7
		合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
√ □ 4	並み割の動法	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
水土 汀	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
)	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	11 47 100 00 10 12				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
省				C123	温湿度の適正管理
ュ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	凯伊伊克装饰	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E104	照明点灯範囲の細分化
	凯 供 道 1 4 签				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。

1 事業所等の概要

	- / / - /	∠ I .4	- 100	·														
事	業彦	等	の名	称	鶴月	緑	の交	で流角	馆									
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	6	7				
					₹	1	9	5		0	0	5	3	区	市田	丁木	寸 名	東京都町田市
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	F 地 下	能ケ	谷1-	-2-	·1							
事	業所等	等の	延床面	ī積		4	,635	.37	m^2		業 ア ネ ル				責 年 . 用			
所	有	Ī	形	態		自己	1所1	有] 他	1者月	桁						
報	告	i i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	・ナン	ント)			□ 建物の一部(その他)
土口	生然 国	I	- ナ- フ ロ			事務	所					商業	纟施調	没(集	勿販)		□ 商業施設(飲食)
半以	告範囲	1001	こだる州	力达		工場	크 7					複合	施	設				■ その他
に	本 標 おける	5 細 2	分類番	号号	9	5	1	1	連	鎖化	と事業	業区 2	分		直'	営尼	Ė	□ 加盟店 ■ 非該
再の	生可育	能工 用	ネルキ 状	デー 況				ミエネ 背の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネルキ	-	電	□ 証書による環境価値 の利用
前か	年度らい	の 執 の <i>落</i>		容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	126	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	248	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	53.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	尔	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	20,383.1	45.00	917.2	0.0136	45.7
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	で その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
Thi:	で その他(A重油)			L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	228,317.7	9.97	2,276.3	0.4890	111.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	182,557.0	9.28	1,694.1	0.4890	89.3
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 4,887.7		¹⁵ 246.7
その				m^3	4,439.9			0.2660	1.2
他 公共下水道				m^3	4,439.9	/		0.4000	1.8
		合 計							3.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

$\frac{4}{}$	地球温暖化对策	マステルの	<u>重点対策</u>		 その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
	#\ /\. #\\ ~ ## /#	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
組	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築		
	La Fra	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
12	11 // 10 10 10	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
		C203	営業前後の客室不要照明の停止		
省		C208	営業前後の客室不要空調の停止		
エ		C210	加熱時間表示等による無駄の抑制		
ネ		C212	水栓器具近傍に節水表示		
ルギ		C215	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定		
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
束	放 佣 体 寸 刈 來	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	以用等八刈來	E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。日々の温度管理を行い、デマンドにて電気使用量の節電管理を行う。使用してないエリアの照明節電を行う。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	国队	祭版	画美	術	館												
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	1	6							
					₹	1	9	4	_	0	0	1	3	区ī	市町	村:	名	東京都町田市	ī		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	争 地 下	原町	田4	-28	-1										
事	業所等	多の多	延床面	ī積		7	,840	.22	m^2		業				責年 用:		の 間	■ 1年度分	.	□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	钉] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)			建物の一	部(そ	その作	也)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	纟施	没(物	う販)			商業施設	(飲1	食)	
羊区	口軋团	(ノ土	こでの月	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	設				その他			
に	本標	細り	分類 番	号	8	2	1	3	連	鎖化	么事美	業区 2	分		直営	店		□ 加盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	:可能 :受入	エネ	バルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 154	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	297	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	④ 298	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 37.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000) × 7	徐毅 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	42,860.5	45.00	1,928.7	0.0136	96.2
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
This	その他(A重油)			L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	360,477.0	9.97	3,594.0	0.4890	176.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	51,283.0	9.28	475.9	0.4890	25.1
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽¹⁴⁾ 5,998.6		⁽¹⁵⁾ 297.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	918.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	2,839.0			0.4000	1.1
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 42	フェルドリハコハ

	地球温暖化对床	C TO DCDE TO	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
<u>√</u> √ √	職体制の整備				
水丘川	取 仲 同 ジ 歪 浦				
, ·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	形状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C509	中央熱源機器等の季節設定実施
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
X	LESS MILL I VI SK	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。

1 事業所等の概要

事	業月	斤等	の名	称	堺「	市民	セン	ター	_													
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	1	8								
					₹	1	9	4	_	0	2	1	1	区	市	町	村	名	東京都町田	市		
事	業所	等の	か 所 右	E 地	町。	名 番	* 地下	相原	[町7]									_				
事	業所	等の	延床面	面積		2	,433	.68	m^2	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 <i>終</i> ・使	漬 [年月	度期	の間	■ 1年度	分		1年未満
所	1	1	形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	斤有										
報	台	片	範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	部(ラ	テナ	ント	.)			〕建物の−	-部((その)他)
却		田のう	とたる月	コンタ		事務	所					商美	き施!	没(4	勿具	反)] 商業施設	殳(飲	(食)	
郑	口単山	出りコ	ヒルング	力还		工場	<u>司</u>					複合	}施	設					その他			
	おけ	る細	を業分 分類者	昏号	9	8	2	1	連	鎖化	と事 き						店		□ 加盟店	1		非該当
再の	生可	能 エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	E可能)受入	巨エス	ネル	ギ	一電		□ 証書に の利用		環境(価値
前 か			8 告 卢 変 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 51	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 98	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	<a>98	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 40.2	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,622.7	45.00	658.0	0.0136	32.8
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2002	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	133,658.5	9.97	1,332.6	0.4890	65.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	1,990.6		98.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	645.1			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	645.1	/		0.4000	0.3
		合 計				/			0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
組組	織体制の整備				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省エネ	運用対策				
ルギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。使用していない箇所の消灯を徹底する。 無駄な照明等がないか巡回し確認する。 使用していないエリアは空調を停止する。 空調使用時は、適正な設定温度にする。 長時間使用しない場合は、OA機器・パソコンの電源を落とす。 日射を避けるためにブラインド・カーテン・遮熱フィルム等を活用する。 館内に熱中症予防・対策についての注意案内を掲示する。 使用していない電化製品のプラグをコンセントから抜く。 クールビズ対策の徹底をする。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	町日	田市	剪定	[枝]	資源	化七	ニング	ター									
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	3	3							
					₹	1	9	5	_	0	0	6	4	区	市町	村	名	東京都町田市	ĵ		
事	業所等	等 の	所 在	地	町。以	名 番	地 下	小野	路町	∫333	2						_				
事	業所等	多の多	延床面	ī積		2	,948	.46	m^2			「等 レキ		実 着 · 使	責年 用		の間	■ 1年度分] 1 ²	年未満
所	有		形	態		自己	所	有] 他	1者月	斤有									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部] 建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)]建物の一部	部(そ	一の化	<u>ħ</u>)
共口	告範囲	ϕ	・たて日	1 ンク		事務	骄					商業	纟施	没(物	勿販)] 商業施設	飲食	E)	
羊区	口軋团	Vノ土	:/このH	力还		工場	3 7					複合	施	設				こその他			
に	本 標 おける	細り	分類番	号	8	8	1	6			(事)	業区2			直常			□ 加盟店		■ 割	該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	⁻ 一 況				エネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の			ベルギ	一電	ı	□ 証書によ の利用	る環境	境価値	値
前か	年度の			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 137	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 137	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 46.4	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000) × 7	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	6,440.0	37.70	242.8	0.0187	16.6
2002	その他(LPG)			kg	73.7	50.80	3.7	0.0161	0.2
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	247,428.0	9.97	2,466.9	0.4890	121.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,713.4		¹⁵ 137.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,356.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	133.0	/		0.4000	0.1
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

	地球温暖化对床	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築		
 	織体制の整備				
 \rangle -	₩ P III V 正 III				
ļ., .	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運 用 対 策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
41.		D204	空調フィルターの清掃・点検	D205	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D206	動力伝達部の定期的な点検	D216	その他設備の定期的な保守・点検
/K					
				1	
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。冷房の設定温度を28度以上に設定する他、照明を含め、不在時には、電源を切ることを行います。

1 事業所等の概要

	4 / 1 4/																						
事	業所	等	の名	称	排刀	k浄	化セ	ニンら	7—														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	5	9									
					₹	1	9	4	_	0	2	0	2	区	市	町	村	名	東京都町	田市			
事	業所	等 0	所在	地	町 り 以	名 番	地 下	下小	山田	町3:	239-	-1											
事	業所等	等の)	延床面	ī積			574	.38	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の -	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊 :		の間	■ 1年	度分] 14	年未満
所	有	-	形	態		自己	引所不	有		〕他	1者列	桁											
報	告	1	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ	ン	、)] 建物の	り一音	ß (そ	の他	<u>扣</u>)
却	生鉛田	ヨ の i	こたる月	日企		事務	所					商業	き施言	没(5	物	坂)			〕商業加	包設 (飲食	()	
						工場	<u>크</u> 7					複合	施	設					〕その他	<u>h</u>			
に	おける	6細	(業 分)分 類 番	号	3	6	3	1			(事業	美区 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	显店	I	■ 非	丰該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	レギ	一電		□証書の利	i l用	5環	境価	値
前 か			设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 88	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 167	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 167	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 290.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	,	田玉 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
700	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	342,281.0	9.97	3,412.5	0.4890	167.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,412.5		167.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	518.5			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	518.5	/		0.4000	0.2
		合 計							0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2 %(V 11111 F/Z	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

	电外征吸孔剂 外		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組糸	職体制の整備				
エク使り	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無					
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t			
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。○施設内の照明は必要時のみ点灯する。 ○控え室のエアコンの使用は昼休憩時の1. 5時間に限定し、温度設定を28℃以上にする。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	総合	合体	育館	Ì													
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	4	4							
					₹	1	9	4		0	0	4	5	区	市町	村。	名	東京都町田市	j		
事	事業所等の所在り					名 番	· 地 下	南成	減5	-12											
事	業所等	多の多	延床面	ī積		24	,799	.56	m^2		業				責年 用:		の 間	■ 1年度分	[1·	年未満
所	有		形	態		自己	所	钉] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	り の全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)			建物の一	部(そ	<u>-</u> のf	也)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	骄					商業	纟施	没(物	物販)			商業施設	(飲食	()	
羊区	口軋团	(ノ土	ここの月	1 歴		□ 工場 □						複合	施								
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	0	4	2		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店	ı	■ ∌	丰該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環:	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 735	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1,405	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 4	t
	総計(④=②+③)	(4) 1,409	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 56.6	$kg-CO_2/m^2$

燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	212,102.0	45.00	9,544.6	0.0136	476.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
This	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	1,900,595.0	9.97	18,948.9	0.4890	929.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 28,493.5		¹⁵ 1,405.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	6,891.0			0.2660	1.8
他	1 1 1 344			m^3	7,374.0			0.4000	2.9
		合 計							¹⁶ 4.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □ ⟨	並み割の敷供	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
水 丑	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
))) (t/t)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
工				C507	温度計等による室温の把握と調整
ネル				C510	その他設備の不使用時の停止
ギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
· 対		D101	Thus will	D102	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_		
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載	寺記事項に内容を記載				

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の2030年度までに、基準年度である2013年度比で46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。指定管理者が管理・運営しています。照明の間引き及び消灯、使用室場の制限、空調の設定温度引上げ、OA機器電源管理の徹底、券売機稼動制限、クールビズ、自動販売機の運用制限、カーテンの活用、階段使用の推奨、使用電力量を監視し電力量を調整する、施設内植栽推進によるCO2吸収促進化、ゴミのリサイクルについて関連会社と改善に向けて随時協議を行う。

1 事業所等の概要

	7 / 1 4/.																	
事	業所	等	の名	称	なる	うせ	訳前	市国	己セン	ノター	_							
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	4	8				
					Ŧ	1	9	4	_	0	0	4	5	区ī	市町	村々	宮 東京都町田市	
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	* 地 下	南成	瀬 1	-2-	-5							
事	業所等	等の	延床面	ī積		2	,076	.60	m^2		業 ア ネ ル				責年 用:		□ 1年度分	□ 1年未満
所	有	•	形	態		自己	1所7	有] 他	1者月	ff有						
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	企部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の一部	羽(その他)
土口	北 然 田	I	- ナ フ ロ	- · · · ·		事務	鲚					商業	纟施言	没(物	,		□ 商業施設(飲食)
半以	告範囲	リクノユ	こだる州	力述		工場	<u>司</u>					複合	施	設			■ その他	
	おける	5細2	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	と事業				直営		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備			_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	ベルギ	一電	□ 証書による の利用	る環境価値
前か	年度らら		设 告 内 定 更	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 41	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 79	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 79	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 38.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	Min 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				6	7	® =(⑥ /1000)× ⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,709.6	45.00	661.9	0.0136	33.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	10.0	37.70	0.4	0.0187	0.0
2002	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	96,014.0	9.97	957.3	0.4890	47.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	1,619.6		80.0
その	そ 水道及び工業用水道			m^3	1,243.0			0.2660	0.3
他	公共下水道		m^3	1,243.0	/		0.4000	0.5	
		合 計				/			0.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
組糸	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
	シュン たっ	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策			C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省工、				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネルギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	】 設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
/K	PSC AIM NA. 1 3/1 3/1	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		_

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。 具体的な節電対策

- ①照明の間引き実施(全体の約13%)
- ②不使用エリアの消灯徹底(全体の約3%)
- ③室内温度28℃の徹底(全体の約4%)
- ④不在エリアの空調の停止(全体の約2%)

1 事業所等の概要

	3 /1~/		- 100																				
事	業別	デ 等	の名	称	小口	山市	民セ	こンら	7—														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	5	1									
					Ŧ	1	9	4		0	2	1	2	区	† .	町	村	名	東京都	町田市	ī		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	* 地 下	小山	町2	507-	-1												
事	業所	等の	延床面	ī積		2	,705	.46	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 ; · 使	績	年 用	度期	の間	■ 1年	F度分			1年未満
所	有	Î	形	態		自己]所	有] 他	1者所	ff有											
報	芒	î	範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— [‡]	部(ラ	テナ	ン	ト)			〕建物	の一	部(-	その	他)
報	告新田	目の主	こたる月	日徐		事務	所					商業	É施	没(/	物	販)			〕商業	施設	(飲	食)	
						工場	<u>司</u> 切					複合	产施言	設					■ その	他			
に	おける	る細り	産業分 分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	(事業	美区 :	分] j	直営	店		□加	盟店			非該当
再の		能エ用	ネルキ 状				三可能 記設備		ルギ :置	_			三可能) 受 <i>入</i>		ネノ	レギ	一電	į		書によ 利用	:る雰	環境信	西値
前か			8 告 内 変 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 83	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 158	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	58.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		四重4/11/1/	推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別			単位	世川里	徐毅	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
484	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2003	その他(LPG)			kg	68.5	50.80	3.5	0.0161	0.2
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	324,085.0	9.97	3,231.1	0.4890	158.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽¹⁴⁾ 3,234.6		158.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	988.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	988.0			0.4000	0.4
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

	地球価坡化剂东	V - J CAL V	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
組組	職体制の整備				
))) (tr	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
正) 使)	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対第	設備保守対策				
X	BY MIL IN 1 NO				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の2030年度までに、基準年度である2013年度比で46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。節電対策(照明関係)①事務室の照明の間引き②使用しない箇所の消灯の徹底③勤務時間前は点燈しない(空調関係)①使用していないエリアの空調の停止②遮熱フィルム等により日射を遮る。③冷房の設定温度は28℃④残業時の冷房はOFF。(OA機器)①必要以外にパソコンを立ち上げない。②長時間席を離れるときはシャットダウンしたり、不必要なOA機器は電源OFFする。(その他)①必要以外のエレベーターは停止する。②クールビズの徹底③業務終了時差込プラグのうち、可能なものはコンセントから抜いておく。④コピー枚数を削減する。

1 事業所等の概要

	· / / · / /																		
事	業所	等	の名	称	木氰	自山	崎コ	ミュ	ニテ	イセ	ンタ	_							
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	5	2					
					Ŧ	1	9	5	_	0	0	7	4	区ī	市町	村名	東京都町田市	Ħ	
事	業所	等 0	所在	地	町。以	名 番	* 地 下	山崎	5町2	160-	-4								
事	業所等	等の)	延床面	ī 積		2	,104	.68	m^2		業				責年 用:			· []1年未満
所	有	•	形	態		自己	1所7	钉] 他	1.者页	桁							
報	告	1	範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の一	部(そ	の他)
共口	告範囲	in i	ーたフロ	1 ンク		事務	鲚					商業	纟施言	没(物	,販)		□ 商業施設	(飲食)
羊区	古軋世	リクノゴ	こにつけ	力述		工場]					複合	施	設			■ その他		
	本 標 おける	5細2	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	と事 美				直営		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	ベルギ	一電	□ 証書に』 の利用	にる環境	色価値
前か	年度らる		设 告 内 定 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 40	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 78	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 79	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 37.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	<u>工工 (</u>	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥ /1000)× ⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	4,955.1	45.00	223.0	0.0136	11.1
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
777	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	136,900.0	9.97	1,364.9	0.4890	66.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁾ 1,587.9		¹⁵ 78.1
その	水道及び工業		m^3	1,790.0			0.2660	0.5	
他	■ ´´			m^3	1,790.0	/		0.4000	0.7
		合 計							1.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
幺日 幺	職体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供
水丘 月	歌 平 町 ジ 金 浦				
	the second	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
使用状況の推握 				B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
省		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
工		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネ				C507	温度計等による室温の把握と調整
ルギ					
]		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	】 設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	以佣床与对来				
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	 設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	一一			E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。日射を遮るために、カーテン、ブラインド、遮熱フィルムを活用する。電球を減らす。

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	町日	田市	文化	/交	流セ	ンタ	_										
業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	5	5							
				₹	1	9	4		0	0	1	3	区ī	† 町	村。	名」	東京都町田	市		
業所	等の	所在	地	町。以	名 番	地 下	原町	田4	-1-	-14										
業所等	争の多	延床面	ī積		4	,133	.86	m^2									■ 1年度分	}		1年未満
有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者所	桁									
告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(その	他)
生	n i	たる日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)			商業施設	(飲	食)	
口軋匠	V) 1	ここの月	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他			
おける	細り	う類 番	号	9	8	2	1	連	鎖化	と事業	業区 2	分		直営	店		□ 加盟店	:		非該当
生可育	とエク 用	ネルキ 状	· 況						_					ルギ	一電		□ 証書に。 □ の利用	よる現	₹境信	西値
			容点																	
	業業告本お生年業所有毎標標でででででがのののののでのの <th< td=""><td>業 所 等 の 発 無 なお生 年 本お生 年 年 本お生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年</td><td>業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形 告 範 告 範 囲 を 産</td><td>業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分れ状 生可能用 年度の報告内容</td><td>業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 者 態</td><td>業所番号A 0 業所等の所在地 世別 4 世別 4 新等の延床面積</td><td>業所番号A 0 9 業所等の所在地</td><td>業所番号A 0 9 5 業所等の所在地 「□ 1 9 4 町以 4,133.86 有形態 自己所有 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 9 8 2 1 年前能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネル 発電設備の設</td><td>業所番号A 0 9 5 3 業所等の所在地 「T 1 9 4 1</td><td>業所番号A 0 9 5 3 一 業所等の所在地</td><td>業所番号A 0 9 5 3 一 0 業所等の所在地</td><td>業所番号A 0 9 5 3 一 0 0 年 所等の所在地</td><td>業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 町名番地 以 事業所等の 1 3 東所等の延床面積 4,133.86 m² 事業所等の 1 2 ネルギー</td><td>業所番号A 0 9 5 3 一 0 0 5 5 業所等の所在地 T 1 9 4 一 0 0 1 3 区 1 業所等の延床面積</td><td>業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 5</td><td>業所番号A 0 9 5 3 一 0 0 5 5 業所等の所在地</td><td>業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 T 2 番 地</td><td>業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都町田</td><td>業所番号A09533-00055 業所等の所在地 「T 194 - 00113 区市町村名 東京都町田市 町 名番地</td><td>業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 業所等の所在地 「T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都町田市 町 名番地</td></th<>	業 所 等 の 発 無 なお生 年 本お生 年 年 本お生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形 告 範 告 範 囲 を 産	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分れ状 生可能用 年度の報告内容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 者 態	業所番号A 0 業所等の所在地 世別 4 世別 4 新等の延床面積	業所番号A 0 9 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 業所等の所在地 「□ 1 9 4 町以 4,133.86 有形態 自己所有 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 9 8 2 1 年前能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネル 発電設備の設	業所番号A 0 9 5 3 業所等の所在地 「T 1 9 4 1	業所番号A 0 9 5 3 一 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 3 一 0 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 3 一 0 0 年 所等の所在地	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 町名番地 以 事業所等の 1 3 東所等の延床面積 4,133.86 m² 事業所等の 1 2 ネルギー	業所番号A 0 9 5 3 一 0 0 5 5 業所等の所在地 T 1 9 4 一 0 0 1 3 区 1 業所等の延床面積	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 5	業所番号A 0 9 5 3 一 0 0 5 5 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 T 2 番 地	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都町田	業所番号A09533-00055 業所等の所在地 「T 194 - 00113 区市町村名 東京都町田市 町 名番地	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 5 業所等の所在地 「T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都町田市 町 名番地

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	173	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	331	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	4	t
	総計(④=②+③)	4	335	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	80.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田東子小川	推計		/ -	H W	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					6	7	® =(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.[+].	都市ガス			Nm^3	35,582.6	45.00	1,601.2	0.0136	79.8
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)		L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0	
75%	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	513,734.0	9.97	5,121.9	0.4890	251.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 6,723.1		331.1
その				m^3	7,280.0			0.2660	1.9
他	· · / · / · / · / · / · / · / · / ·			m^3	7,280.0	/		0.4000	2.9
		合 計							4.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.0

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×9とする。

1	地球温暖	ル芸笙の	丰格州汇
4	11/11/11/11/11/11/11	11、3シレスタリノ	' -х. ли л /л

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	職体制の整備				
	L , 18 44 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策			C113	中間期における外気冷房の実施
				C514	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C517	看板照明点灯時間の季節別管理
エネル					
ギー				D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	サン	/町	田旭	体育	育館														
業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	7	2									
				₹	1	9	4	_	0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都町	田市			
業所	等の	所 在	地	町夕以	名 番	i 地 下	旭町															
業所等	等の3	延床面	ī積		7	,754	.31	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レキ	の : 	実 ; · 使	績 :	年 刊 :	度期	の間	■ 1年度	ま分] 1年	三未満
有		形	態		自己	所有	有		」他	者別	桁						•					
告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ	ン	、)			〕建物の	一部	(そ	の他	()
光然 區	I D -	- ナ- フ ロ	- A		事務	骄					商業	纟施言	没(!	物	坂)			〕商業施	設(創	次食)	
古軋世	V) ±	こにつけ	1 述		工場	<u>=</u>					複合	施	設					その他				
おける	細	分類番	号	8	0	4	2	連	鎖化	(事業	美区 2	分		l <u>ī</u>	直営	店		□ 加盟	店		非	該当
生可能 利	_{とエ} 用	ネルキ 状	· 况						_					ネバ	レギ	一電				環境	危価値	i
			容点			·	·		·										·			
	業業所有告をできる。	業所等の業所 有告 本お生 の 華細工用 の 報 年 の 報 年 の 報 年 の 報 年 の 報 年 の 報 年 の 報 年 の 報 年 の 報 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	業所番 業所等の所在 業所等の延床 有 形 告 範 告 範 告 範 本標準細エカ まける能用 生 可 報 告 内 番 告	業所等の所在地 業所等の所在地 業所等の延床面積 有 形 態 告 範 囲 告範囲の主たる用途 本標準産分類番号 生可能エー 利 用 状 内容	業所番号A 業所等の所在地 ボックの所在地 ボックの所を面積 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	業所番号A 0 〒 1	業所番号A 0 9 〒 1 9 町以 4 番地 以 7,754	業所番号A 0 9 5 〒 1 9 4 町 名番地以	業所番号A 0 9 5 3 〒 1 9 4 - 1 1 9 4 - 1 1 9 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	業所番号A 0 9 5 3 一 〒 1 9 4 一 0 町 名番地	業所等の所在地 で	業所等の所在地 〒 1 9 4 - 0 0 2 町名番地 以	業所等の所在地 T	業所等の所在地 〒 1 9 4 - 0 0 2 3 区 T 1 9 4 - 0 0 2 3 区 T 7,754.31 m² 事業所等の実活 スネルギー 使 指面の主たる用途 本標準産業分類 8 0 4 2 連鎖化事業区分 日 独の受入 年度の報告内容	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 7 2 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 0 2 3 区市 世間 3-20-60	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 7 2 〒 1 9 4 - 0 0 2 3 区市町 以 名番地以 事業所等の実績年	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 7 2 で	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 7 2 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 7 2 〒 1 9 4 - 0 0 2 3 区市町村名 東京都町町名番地以 事業所等の 実績年度の エネルギー 使用期間 ■ 1年度	業所番号A09533-00072 〒194-00023 区市町村名 東京都町田市町 名番地	業所番号A0953-00072 *** ** ** ** ** ** **	業 所 番 号 A 0 9 5 3 - 0 0 7 2 〒 1 9 4 - 0 0 2 3 区市町村名 東京都町田市 町 名 番 地 以

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 183	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	^② 351	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 353	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 45.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田東4小山	推計		//. H. F.	1 No.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	64,712.7	45.00	2,912.1	0.0136	145.2
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	20.0	37.70	0.8	0.0187	0.1
2003	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	421,454.0	9.97	4,201.9	0.4890	206.1
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 7,114.7		⁽¹⁵⁾ 351.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,051.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	4,886.0	/		0.4000	2.0
		合 計							¹⁶ 2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.0

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
√ □ ⟨	強 45 生 の 動 1生			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
和上方	織体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
) - 18 tota -	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
省				C123	温湿度の適正管理
工				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネル				C129	季節に応じた温度設定の見直し
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D101	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D103	空調フィルターの清掃・点検	D103	ボイラ等の空気比の調整
		D104	ボイラ等の定期点検の実施	D107	その他設備の定期的な保守・点検
		D100	4・17 4・7/上別が保い大胆	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E102	空調の冷温水配管の保温の実施
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

1 事業所等の概要

	7 / 1 7//																			
事	業所	等	の名	称	市戶	宁舎														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	7	5						
	_				Ŧ	1	9	4	_	8	5	2	0	区	市町	村。	名 東京都岡	丁田市		
事	業所	等 σ _.	所 在	地	町。以	名 番	* 地 下	森野	\$2-2-											
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		41	,210	.25	m^2		業				責 年 用 :		D 間 ■ 1年	度分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	钉] 他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物(の一部	3(その)他)
土口	北然 国	I ⊅ →	- ナ_ フ ロ	口公		事務	新					商業	纟施	没(物	り販)		□商業	施設(角	飲食)	
羊収	告範囲	リクノユ	こだると	H 述		工場	<u>司</u>					複合	施	設			□ その作	也		
に	本 標 おける	新	分類種	手号	9	8	2	1	連	鎖化	/事				直営		□ 加盟	盟店		非該当
再の	生可能 利	とエ 用	ネルキ 状	· 记			三可能 記設備			_		再生 気の	.可能 受入	ミエネ	ベルギ	一電	□証書	書による ∮用	環境	価値
前か	年度らる			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	867	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1	,652	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	13	t
	総計(④=②+③)	4	,665	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	\$	40.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	, , , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , </u>	田東子小川	推計			1万米1-	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8 =(6)/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	78,040.6	45.00	3,511.8	0.0136	175.1
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2003	その他(その他豆	可燃性天然ガス)		Nm3	397.7	43.50	17.3	0.0139	0.9
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	3,020,061.6	9.97	30,110.0	0.4890	1,476.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 33,639.1		1,652.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	17,212.5			0.2660	4.6
他	公共下水道			m^3	21,798.0	/		0.4000	8.7
		合 計				/			13.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.0

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×9とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
 	並み割の敷 供			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 汀	織体制の整備			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 47 100 00 10 12			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策			C113	中間期における外気冷房の実施
省				C123	温湿度の適正管理
エ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	凯伊伊宁安娜	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	】 設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	以"開等八刈水			E134	駐車場CO等濃度制御の導入
				E140	BEMSの導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	町日	田市	子と	も倉	造	キャン	/パ _.	スひ	なた	_村								
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	7	1								
					₹	1	9	4		0	0	3	2	区ī	市町	村。	名 東	京都町	田市			
事	業所	等 の	所 在	地	町。以	名 番	地 下	本町	↑田28	363												
事	業所等	きの3	延床面	ī積		2	,348	.98	m^2		業				責年 用:		の 間	■ 1年月	度分] 14	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物の)一部	3(そ	の他	<u>µ</u>)
华口	告範囲	\mathcal{O}	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(牧	り販)			商業旗	起設()	飲食	()	
常区	口軋团	Vノ土	:/この月	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他	1			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	1	5			(事)				直営] 加盟]店		▮∄	該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	三 エネ 、	ベルギ	一電		」 証書 の利	による 用	環境	竟価値	直
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 46	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	90	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	4 91	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 38.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	9,756.4	45.00	439.0	0.0136	21.9
燃料	その他(ガソリン	/)		L	88.0	34.60	3.0	0.0183	0.2
及	その他(灯油)			L	200.0	36.70	7.3	0.0185	0.5
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
<i>T</i> (1)	その他(LPG)			kg	230.3	50.80	11.7	0.0161	0.7
_	一般送配電事業者			kWh	82,754.0	9.97	825.1	0.4890	40.5
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	53,759.0	9.28	498.9	0.4890	26.3
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,785.1		90.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,622.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,622.0			0.4000	0.6
		合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2%(7111111111111111111111111111111111111	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組組	織体制の整備				
	the state of the s	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	運 用 対 策	CB37	4S(整理・整頓等)の実施		
省工					
ネ					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
水	成佣水与为来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。冷房28度・暖房19度の設定遵守、クールビズの実施、ごみの減少と分別の徹底

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	薬館	币池	公園														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	7	4							
					₹	1	9	5	_	0	0	6	3	区	市町	村	名	東京都町田市			
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	地 下	野津	出町	T3270)番地	Ī									
事	業所等	多の多	延床面	ī積			425	.07	m^2		業				責年 用		の 間	■ 1年度分] 1年	三未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	/ト)]建物の一部	部(そ	の他)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	骄					商業	(施	没(物	物販)			〕 商業施設(飲食	()	
羊区	口軋团	(ノ土	ここの月	1 歴		工場	3 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	0	5	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		非	該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電	ı	□ 証書によの利用	る環境	竟価値	Ĭ
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 38	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 72	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 72	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 169.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 4 (4)	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	<i>の</i>	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
.[45].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
m	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 昼間(8時~22時			kWh	147,981.0	9.97	1,475.4	0.4890	72.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 1,475.4		72.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,814.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	0.0			0.4000	0.0
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状	ΣП
4		√π.

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	厳体制の整備				
エク使り	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施		
省エネ	運用対策				
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

Ţ.,	VII						<u> </u>															
事	業	等	の名	称	大均	也沢	青少	'年'	セン	ター												
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	1	9								
					Ŧ	1	9	4	_	0	2	1	1	区	市	町	村	名	東京都町田	市		
事	業所	等の	所在	地	町以	名番	地 下	相原	(町5													
事	業所等	等の3	延床面	ī積		4	,432	.47	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の 	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊 :		の間	■ 1年度名	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所不	钉] 他	1者列	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ、	ン	\)			〕建物の−	一部	(その)他)
却	北	I n 🛨	ーチフロ	1 %		事務	丽					商業	纟施言	没(4	物	坂)] 商業施設	殳(飲	(食)	
羊区	告範囲	リクノ土	こにつけ	1 述		工場]					複合	施	設					その他			
	本 標 おける	細り	分類番	号	8	2	1	5			/事業	美区 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟店	1		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	レギ	一電	Ì	□ 証書に の利用	よるタ	環境	価値
前か	年度らる			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 113	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	248	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 248	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 55.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	120.0	34.60	4.2	0.0183	0.3
及	その他(灯油)			L	42,000.0	36.70	1,541.4	0.0185	104.6
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2002	その他(LPG)			kg	538.8	50.80	27.4	0.0161	1.6
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	291,485.0	9.76	2,844.9	0.4890	142.5
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,417.8		⁽¹⁵⁾ 249.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,511.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	0.0	/		0.4000	0.0
		合 計							0.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組糺	織体制の整備				
) - 33 - 66 -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (大)	77 1/1 1/1 0/2 1/2 1/至			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
415	運用対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省エネルド					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	以加水与为水	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。こまめな消灯を心がけます。蛍光灯384本中26本、電球407個中222個、合わせて30%の照明カットを行っています。電球については、LED化に努めます。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	三車	論コミ	ミユニ	ニティ	ィセン	ノター	_										
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	4	1							
					₹	1	9	5		0	0	5	5	区ī	† 町	村。	名頁	東京都町	田市		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	养 地 下	三輪	緑山	14-	14-	1					-				
事	業所等	争の変	延床面	ī積		1	,203	.94	m^2		業				責年 用:		の 間	■ 1年度	受分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物の	一部	(その)他)
共口	告範囲	$D \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(牧	加販)			商業施	設(食	欠食)	
羊区	口即进	リリナ	ここの月	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	9	8	2	1			(事)				直営		-	□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	エネ	ルギ	一電		コ 証書(の利)	による 用	環境	価値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 48	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	93	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 94	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 77.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			12/11		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(10)=(8) × (9) × 44/12
.[+].	都市ガス			Nm^3	9.7	45.00	0.4	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
75%	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	168,445.0	9.97	1,679.4	0.4890	82.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	22,515.0	9.28	208.9	0.4890	11.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,888.8		93.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,782.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,782.0			0.4000	1.1
	-	合 計							1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	ソノ 天	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

<u> </u>	地球温暖化对床		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築		
√ □ 4	職体制の整備				
水土 7	戦性前の登加				
 \	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	用状況の把握				
	-				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	運 用 対 策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
水	成 佣 体 5 为 来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	 設備導入対策				
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。 節電対策として、事務所・廊下の照明の間引き、空調の温度管理、窓ガラスに遮熱フィルム施行を行っている。

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	町日	田ター	-37	ナル	プラ	ザ											
業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	5	4							
				₹	1	9	4	_	0	0	1	3	区	市町	村。	名	東京都町田市	ī		
業所	等の	所在	地	町。以	名 番	地 下	原町	「田3-	-1-4											
業所等	争の多	延床面	ī 積		6	,548	.79	m^2					実 着 使				■ 1年度分	•	□ 1	年未満
有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(>	その1	池)
生	i n i	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲:	食)	
口軋匠	リマノ土	こに公月	月还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他			
おける	細り	分類番	号号		3	1	1			と事 き							□ 加盟店		■ 3	非該当
生可育	ピエ 用	ネルキ 状							_					ベルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環	境価	i値
			容点																	
	業業告本お生年業所有告標でで<	業 所 等 の 着 無 な ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 百 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 本 だ け 可 能 用 本 だ け 可 能 用 水 大 て ま 質 番 キ は す れ 大 て ま て ま な ま な ま か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま た よ か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分ネル状 生可能用 と 年度の報告内容	業 所 番 号 A 業 所 番 号 A 下 町以 業所等の所在 地 町以 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香 筋 囲 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	業所番号A 0 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 有 形態 ■ 自己	業所番号A 0 9 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 業所等の所在地 「 1 9 4 「 A 番 地 「 A 番 地 「 「 1 9 4 「 A 番 地 「 I 9 4 「 A 番 地 「 I 9 6,548.79	業所番号A 0 9 5 3 業所等の所在地 T 1 9 4 - TT A 番 地 以	業所番号A 0 9 5 3 0 1 1 車鎖(fluence of the color of the col	業所番号A 0 9 5 3 一 0 業所等の所在地	業所等の所在地 〒 1 9 4 - 0 0 1	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 業所等の所在地 町名番地 以	業所番号A099530-0054 業所等の所在地 T 1940-10013 区 業所等の所在地 U A 番 地 以 A 番 地 以 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 4 業所等の所在地	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 4 業所等の所在地 「T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村ま 「T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村ま 「T 2 番地 以	業所番号A 0 9 5 3 - 0 0 5 4 業所等の所在地 T 1 9 4 - 0 0 1 3 区市町村名 業所等の延床面積	業所番号A0953 - 0054 ※所等の所在地 町名番地 以 ** 原町田3-1-4 ※所等の延床面積 ** 6,548.79 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ** 1年度分 情 節 囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部を設し、	業所番号A0953-00054 業所等の所在地 町 A番地 以 事業所等の実績年度の 東京都町田市 町 A番地 原町田3-1-4 業所等の延床面積 6,548.79 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 有 形態 自己所有 □他者所有 □ 他者所有 □ 使用の主たる用途 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(テナント) □ 産物の一部(テナント) □ 産業施設(飲金本標準産業分類 4 3 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 □ 加盟店 □ 加盟店 □ 和盟店 □ 和盟店 □ 和盟店 □ 和盟店 □ 和盟店 □ 和田 状況 □ 発電設備の設置 □ 「再生可能エネルギー電」 □ 証書による環の利用	業 所 番 号 A 0 9 5 3 - 0 0 5 4 業 所 等 の 所 在 地

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	138	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	263	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 4	t
	総計(④=②+③)	^④ 267	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 40.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	// /	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	23,498.4	45.00	1,057.4	0.0136	52.7
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
200	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	430,899.0	9.97	4,296.1	0.4890	210.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 5,353.5		263.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	6,640.0			0.2660	1.8
他	公共下水道			m^3	6,640.0	/		0.4000	2.7
		合 計							¹⁶ 4.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
 	並み割の動法			A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
科土	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	市 仏 仏 ツ 16 1座	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C130	エレベータ運転台数の制限
		C109	空室・不在時等の空調停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C808	温湿度の適正管理
	運用対策	C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C809	冷風と温風の混合損失の防止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省		C805	中央熱源機器等の季節設定実施	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
エ				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
ネ				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ				C818	エレベータ運転台数の制限
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
策	以順体引列來	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E129	全熱交換器の導入
	m サババ 水			E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有		無		_		
	ベンチマー	ク区分	个		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床)	面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他		,	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

	7 / 1 -//																			
事	業所	等	の名	称	忠生	生市	民セ	こンら	7—											
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	2	2						
					Ŧ	1	9	4	_	0	0	3	5	区区	† 町	村名	東京都町田	市		
事	業所	等 ₫	所 在	地	町。以	名 番	ទ 地下	忠生	3-	14-										
事	業所等	等の)	延床面	ī 積		3	,411	.33	m^2		業 ア ネ ル				責年 用			}] 14	年未満
所	有	,	形	態		自己	1所1	钉] 他	1.者所	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の-	-部(そ	その化	<u>h</u>)
共口	告範囲	I D -	ーたフロ	1 冷		事務	新					商業	纟施言	没(物	加販)		□ 商業施設	と(飲1)	
羊区	古軋世	リクノユ	こにつけ	1 述		工場	景					複合	施	没			■ その他			
に	本 標 おける	· 細 :	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	と事業				直営		□ 加盟店	i l	■ 割	丰該当
再の	生可能 利	ドエ 用	ネルキ 状	江況			三可能 試設備			_		再生 気の	可能 受入	エネ	ルギー	一電	□ 証書に の利用	よる環	境価値	値
前か	年度らる		设 告 内 定 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 50	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	^② 95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 95	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 27.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田 (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(水 <u>女</u> 人	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,457.3	45.00	650.6	0.0136	32.4
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
200	その他(LPG)			kg	23.9	50.80	1.2	0.0161	0.1
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	129,798.0	9.97	1,294.1	0.4890	63.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,945.9		96.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,019.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,019.0			0.4000	0.4
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖	ル芸笙の	丰格州汇
4	11/11/11/11/11/11/11	11、3シレスタリノ	' -х. ли л /л

地沟通吸几个外	マン天地か		1	7 ~ hl. l. l. hote
				その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
織体制の整備				
ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
用状況の把握				
	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
			C510	その他設備の不使用時の停止
a 田 対 第				
	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
 設備保守対策				
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
設備導入対策				
	職体制の整備ル状ル状用が開株守村強備保守対策	 対策番号 A204 織体制の整備 B101 ネルギー等の C101 C501 D101 設備保守対策 E103 	職体制の整備 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 ネルギー等の用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C501 個室等不使用箇所のこまめな消灯 で501 万ンプ等の定期的な清掃・交換 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内)	重点対策 対策名 対策名 対策番号 対策番号 A204 取組状況の点検体制の構築 A205 A205 A206 R4

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	_■_有	無		_		
	ベンチマー	ク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他		特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業月	千 等	の名	称	陸_	上競	技場	<u>1</u>														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	8	0								
					Ŧ	1	9	5	_	0	0	6	3	区	市	町	村	· 名	東京都町田市	ĵ		
事	業所	等 0) 所 右	E地	町以	名 番	* 地 下	野津	生田町	2035	;											
事	業所	等の	延床	面積		15	,332	.61	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の :	実 ; · 使	漬 [年 用	度期	の間		[] 1	年未満
所	*	Î	形	態		自己	引所和	有] 他	者列	斤有										
報	. 겉	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	テナ	ン	۱ <u>-</u>			□ 建物の一部	部(そ	この作	也)
却	告範囲	田のゴ	ヒたス	田冷		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)																
+K						工場	<u>∃</u>					複合	施	設				I	●その他			
	おける	る細さ		番号	8	0	5	1	連	鎖化	(事業	業区?	分		Ī	直営	店	i	□ 加盟店	ı	■ ∌	丰該当
再の	生可利	能 エ 用	ネル: 状	ギー 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	三可能 9受 <i>力</i>		ネノ	レギ	一官	冟	□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら		股告户 変 更	勺 容 点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	34 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	56 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3 t
	総計(④=②+③)	4 2	59 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 16	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)	
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12	
444.	都市ガス			Nm^3	570.3	45.00	25.7	0.0136	1.3	
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0	
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0	
100	その他(A重油)			L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0	
	一般送配電事業者 昼間(8時~22)			kWh	521,251.0	9.97	5,196.9	0.4890	254.9	
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規貝	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
		合 計					⁽⁴⁾ 5,222.5		¹⁵ 256.2	
その	水道及び工業	用水道		m^3	7,616.0			0.2660	2.0	
他	公共下水道			m^3	4,314.0	/		0.4000	1.7	
		合 計							¹⁶ 3.8	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
 	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水丘. //	戦や前の金浦	A204	取組状況の点検体制の構築	A212	温暖化対策提案制度の導入
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
	4 1 H A	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	11 // 10 42 10 1/2	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C130	エレベータ運転台数の制限
省				C902	作業順序に適した機器の配置
エ				C909	契約電力の変更の検討
ネ					
ルギ					
1		D204	空調フィルターの清掃・点検	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
対	設備保守対策			D215	水道メータ等で漏水の有無の点検
策	以照体与对象				
		E201	高効率照明ランプの採用(屋内)	E202	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	 設備導入対策	E203	高効率照明器具の採用(屋内)	E205	照明用人感センサの採用
	一一一	E214	高効率パッケージの採用	E232	局所換気システムの採用
		E219	ボイラ等の配管系統の保温の実施		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有		無		_		
	ベンチマー	ク区分	个		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床)	面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他		,	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業が	等	の名	称	小里	野路	公園												
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	8	1					
					Ŧ	1	9	5		0	0	6	4	区ī	市町	村名	東京都町田市		
事業所等の所在地町名番地以 下小野路町2023-1																			
事	業所等	等の)	延床面	ī積		3	,637	.94	m^2		業 ア ネ ル			実 績 · 使	責年 用	度 の 朝 間		□ 1:	年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	1者列	痯							
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— [₽]	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の一部	羽(その船	也)
共口	告範囲	1 m -ì	ーたフロ	1 冷		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)													
半区	古軋世	リクノゴ	こにつけ	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	設			■ その他		
	おける	6細	分類番	号	8	0	5	1	連	鎖化	(事業				直営		□ 加盟店	■ ៛	丰該当
再の	生可食	能エ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	可能受入	ニエネ	ベルギー	一電	□ 証書による の利用	る環境価値	値
前か	年度らら		设 告 内 定 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 48	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	93	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<a>95	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 25.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	225.1	34.60	7.8	0.0183	0.5
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他(軽油)			L	134.9	37.70	5.1	0.0187	0.3
2002	その他(LPG)			kg	134.4	50.80	6.8	0.0161	0.4
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	188,478.0	9.97	1,879.1	0.4890	92.2
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計					/	1,898.8		93.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,006.0			0.2660	1.1
他	■ ´´			m^3	4,298.0	/		0.4000	1.7
		合 計				/			¹⁶ 2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	宝썲状况
-	711, %(V1) IIII F/\(\sigma\)	ロュカロ かと マン	

	<u>地冰価坂化剂外</u>		重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
組糸	職体制の整備								
<u> </u>	ラルゼー 然の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握				
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯				
		C109	空室・不在時等の空調停止						
省エネルギ	運用対策								
対策	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検						
	設備導入対策								

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無				_		
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載	時記事項に内容を記載				

6 特記事項

1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100																				
事	業別	デ 等	の名	称	子と	ごもり	センク	ター	まあ	ち													
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	8	3									
					Ŧ	1	9	4	-	0	0	2	1	区	市	町	村	名	東京都	町田市	ī		
事	業所	等の	所在	地	町以以	名番	新地 下	中町	ſ1-;	31 —	22												
事	業所	等の	延床面	ī積		2	,018	.49	m^2	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 ; · 使	績	年 刊 :		の間	■ 1年	三度分			1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所不	有		□ 他	1者月	斤有											
報	芒	i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	郭(ラ	テナ	ン	、)			〕建物	の一	部(.	その	他)
也	生統日	E Φ 🗎	こたる月	1 次		事務	新					商業	纟施	設(/	物	坂)			〕商業	施設	(飲	食)	
干以	口里巴区	ロマノユ	ニノニインハ	1 灰		工場	易					複合	产施言	設					その	他			
に	おける	5細3	至業分分類番	号	8	5	3	9	連	鎖化	と事 美	業区 :	分] [直営	店		□加	盟店			非該当
再の	生可?	能エ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備			_			三可能) 受 <i>入</i>		ネバ	ノギ、	一電			書によ 利用	:る雰	環境信	 面值
前 か		の 執 の 変	设 告 内 変 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 46	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 89	t
排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<a>4 <a>89	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 44.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	15,967.2	45.00	718.5	0.0136	35.8
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2002	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	110,378.0	9.97	1,100.5	0.4890	54.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計					⁽¹⁴⁾ 1,819.0		⁽¹⁵⁾ 89.8	
その	水道及び工業	用水道		m^3	808.0			0.2660	0.2
他	■ ´´			m^3	808.0	/		0.4000	0.3
		合 計							0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	批拌泪	暖化対策(7 実 協 出 沿
4	THE TAX (IIII	ᄧᅜᅜᅜᅜᅜ	' J - T- MILAN (7)

4	地球温暖化对床	C - D C M C - V -	重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
組制	織体制の整備								
	ネルギー等の用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握				
省エネルギ	運用対策	C109 C504	空室・不在時等の空調停止利用状況に応じた空調の設定変更	C108 C112 C115	温度計等による室温の把握と調整季節に応じた外気導入量の適正化事務用機器を業務終了時に停止				
] 対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102 D108	セントラル空調のフィルター清掃 その他設備の定期的な保守・点検				
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	リレ	-t	こンら	7 —2	みな	み											
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	5	8							
					₹	1	9	4		0	0	0	5	区ī	市 町	村	名	東京都町田市	j		
事	業所	等 の	所在	地	町夕以	名 番	· 地 下	南町	田2	-6-	-14										
事	業所等	多の多	延床面	ī積		2	,373	.74	m^2		業				責年 用		の 間	■ 1年度分	[_ 1	年未満
所	有		形	態		自己	別所不	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物の一部	部(そ	このも	也)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	骄					商業	(施	没(物	,			商業施設	(飲1)	
羊区	口軋团	(ノ土	ここの月	1 还		工場	3 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	8	1	6		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店	ı	■ ∌	丰該当
再の	生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	ミエネ 、	ルギ	一電	ı	□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 40	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 77	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 77	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 32.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000) × 7	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2002	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	158,094.5	9.97	1,576.2	0.4890	77.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,576.2		¹⁵ 77.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	531.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	531.0	/		0.4000	0.2
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	ソノ 天	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

	地球温暖化对床		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
 終日 系	織体制の整備				
// //	W 14. 101 42 TE 101				
エン	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策				
省					
エネ					
ル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	成河	頓コミ	ミユニ	ニティ	ィセン	ノター	_										
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	3	8							
					₹	1	9	4		0	0	4	6	区	市町	村	名	東京都町田市	1		
事	業所	等 σ.	所 在	地	町。以	名 番	地 下	西成	₹瀬2-	-49-1	Ĺ										
事	業所等	きの	延床面	ī積		1	,846	.79	m^2		業				責年 用		の 間	■ 1年度分	- [1	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(そ	その作	也)
共口	告範囲	ω÷	ーたス日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲1)	
羊区	口軋团	Vノ土	ニバンカ	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他			
に	本標	細	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	么事美	業区 2	分		直営	店		□ 加盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	一 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	三 、 、	ベルギ	一電		□ 証書によ の利用	:る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 63	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 123	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 123	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	<u>山並((ジ) 1)</u> 種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	,, .	,	使用	, ,_	6	7	(8=(6/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	13,765.2	45.00	619.4	0.0136	30.9
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
This	その他(LPG)			kg	3.9	50.80	0.2	0.0161	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	122,022.0	9.97	1,216.6	0.4890	59.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	66,718.0	9.28	619.1	0.4890	32.6
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 2,455.3		123.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	576.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	576.0	/		0.4000	0.2
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	批拌泪	暖化対策(7 実 協 出 沿
4	THE TAX (IIII	ᄧᅜᅜᅜᅜᅜ	' J - T- MILAN (7)

4	地球温暖化对策	り大地が		,	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築		
 	織体制の整備				
和上方	は 平 刊 の 登 佣				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握				
	中 4人 7元 77 1日 1年				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	運用対策				
省					
1日 工					
ネ					
ルギ					
7		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	乳烘油				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

	4 / 1 4/																			
事	業彦	等	の名	称	鶴月	ポ	ンプ	場												
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	5	6						
					Ŧ	1	9	5	_	0	0	5	4	区ī	市町	村々	宮 東京都町田	市		
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	地 下	三輪	計町2											
事	業所等	等の。	延床面	ī積			845	.74	m^2		業 ア ネ ル			実 績 · 使	責年 用:	度 <i>(</i> 期 間	D ■ 1年度分	}	<u> </u>	年未満
所	有	•	形	態		自己	所	有] 他	1者月	有								
報	生	:	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の-	-部(そ	その化	<u>扣</u>)
土口	北 然 国	I (A) -	- -			事務	所					商業	纟施言	设(物	,		□ 商業施設	분(飮1)	
羊区	告範囲	コリノゴ	ニバるカ	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	設			■ その他			
	おける	5細		号号	3	6	3	1	連	鎖化	/事業				直営		□ 加盟店	i l	■ 割	丰該当
再の	生可育	能エ 用	ネルキ 状	一 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	、ルギ・	一電	□ 証書に の利用	よる環	境価値	値
前か	年度らら		设 告 内 変 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 53	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 105	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 105	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 124.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
Thi	その他(A重油)		L	130.4	39.10	5.1	0.0189	0.4
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	135,551.0	9.97	1,351.4	0.4890	66.3
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	79,124.0	9.28	734.3	0.4890	38.7
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,090.8		105.3
その	水道及び工業用水道			m^3	143.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	0.0			0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

	CV JCNEW			 その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
か け 即 の 畝 は			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
戦性制の登加			A216	所内会議・研修会等で報告
	D101	白さえ毛可能な体却に甘べく加根	D106	過去のデータによる傾向の把握
ネルギー等の			B100	適去のケータによる傾向の指揮
用状況の把握	B105	エイルキー使用重の削牛及比較		
	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C907	効率的な台数での生産設備の運転
			C927	その他設備の不使用時の停止
V-7 III I.I. 646				
連用対策				
	Dooc	私 4 广 法如 5 宁 世	D001	こんがのウサルムシキョー大格
	D206	期力伝達部の定期的な点検		ランプ等の定期的な清掃・交換
設備保守対策				ストレーナやフィルターの清掃
				水道メータ等で漏水の有無の点検
	E001	71 1000 - 2 2 K H / H 1	+	その他設備の定期的な保守・点検
	E201	高効率照明フンプの採用(屋内) 	E202	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
設備導入対策				
	職体制の整備ネオ状一のの一のの一のの対策機保守対策	対策番号 A204 離体制の整備 ネルギー等の 用状況の把握 C101 C925 運用対策 D206 設備保守対策 E201	職体制の整備 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 R 大況の把握 E201 高効率照明ランプの採用(屋内)	重点対策 対策名 対策名 対策番号 対策番号 A204 取組状況の点検体制の構築 A206 A214 A216 A216 A216 B105 エネルギー使用量の前年度比較 B106 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C120 C925 水道メータ等で漏水の有無の点検 C907 C927 C927 C927 C927 C927 C927 C926 D208 D215 D216 E201 高効率照明ランプの採用(屋内) E202

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無		
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	南市	市民	セン	ター	<u>-</u>												
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	5	0							
					₹	1	9	4	_	0	0	1	2	区	市町	村	名	東京都町田市	ī		
事	業所	等 の	所在	地	町。以	名 番	地 下	金森	₹4-	5-6											
事	業所等	多の多	延床面	ī積		2	,117	.30	m^2		業				責 年 用		の 間	■ 1年度分	•	□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の一	部(>	その1	也)
共口	告範囲	\mathcal{L}	・たて日	日次		事務	骄					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲:	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	こでの月	力还		工場	3 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 : おける	細り	分類 番	号	9	8	2	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		■ 🦻	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	一 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書によ の利用	る環	:境価	i値
前か	年度の			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 61	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 118	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 118	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 55.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		四重4/11/1/	推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用里	常毅	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			12/13		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(10=8)×9×44/12
484	都市ガス			Nm^3	18,998.6	45.00	854.9	0.0136	42.6
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
75%	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	154,207.0	9.97	1,537.4	0.4890	75.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,392.4		118.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,240.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,240.0	/		0.4000	0.5
		合 計							0.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名			
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定			
√ □	並み割の動法	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計			
和上方	織体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供			
		B101	 自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握			
エン	ネルギー等の	B101	関連他者からの情報を加えて把握	D104	「以下」「一人」「「一大小山(一九一)」			
使丿	用状況の把握	B102	エネルギー使用量の前年度比較					
	Ι			C104	極水が利用」を逆転の実施			
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施			
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施			
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整			
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止			
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止			
省		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C502	採光を利用した消灯の実施			
エネ		C508	空室・不在時等の空調停止	C510	その他設備の不使用時の停止			
ル								
ギー		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃			
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検			
N	ISA MILITA A MA MILI							
	設備導入対策							

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	9	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。・勤務時間開始前は事務室の点灯はしない・事務室、貸出施設の照明の間引き・冷房温度を28度とする・扇風機を積極的に活用する・日射を遮るためにブラインド、カーテンを活用する・職員の残業時には事務室の冷房OFF・長時間離席する際はPCをシャットダウンする・建物総合管理業務委託契約の受託者に、業務を履行する際に節電をするよう要請する

1 事業所等の概要

_	7 / 1 4/.																			
事	業所	等	の名	称	鶴月	川市	民セ	こンら	7—											
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	5	7			_			
					Ŧ	1	9	5	_	0	0	6	2	区ī	市町	村名	東京都町日	日市		
事	事業所等の所在地				町以以															
事	業所等	等の)	延床面	〕 積		2	,609	.97	m^2		業 ア ネ ル			実 績 · 使	責年 用	度 <i>₫</i> 朝 間		分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所不	<u></u>] 他	1者月	有								
報	告		範	囲		建物	カ の全	企部		〕建	物の)—≒	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の	一部((その	他)
华口	告範囲	i n i	ーたスH	1.2	□ 事務所							商業	纟施言	没(物	り販)		□ 商業施	設(飲	(食)	
羊区	口軋团	コマノゴ	こに公开	7 还	□ 工場					□ 複合施設 ■ その他										
	本 標 おける	5細2	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	么事 🤻				直営		□ 加盟/	吉		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	ベルギー	一電	□ 証書に の利用		環境信	 面值
前か	年度らる		设 告 内 安 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 44	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 86	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 86	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 32.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

					// H P	1 Nr.	熱量	二酸化炭素排出量		
	燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	小教 ⑨	(t) (0=8×9×44/12	
444.	都市ガス			Nm^3	17,737.1	45.00	798.2	0.0136	39.8	
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0	
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
び 熱	び その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0	
200	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0	
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	94,584.0	9.97	943.0	0.4890	46.3	
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合 計							⁽¹⁴⁾ 1,741.2		86.1	
その				m^3	1,019.0			0.2660	0.3	
他 公共下水道			m^3	1,019.0			0.4000	0.4		
		合 計							0.7	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

	地球価坡化剂床	- J (M L V	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
 	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
水丘. 7	似件的少金油	A204	取組状況の点検体制の構築		
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
省		C506	余熱利用による早めの空調停止		
エ		C508	空室・不在時等の空調停止		
ネルバ					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策				
	IN MI TAY ON TO				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	_	

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の2030年度までに、基準年度である2013年度比で46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。・使用していない箇所の消灯を徹底する。・屋外照明の白熱灯の使用禁止、点灯時間の短縮。・使用していないエリアは空調を停止する。・日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム等を活用する。・各種出入口、搬入口の扉等を必ず閉め冷気流失を防止する。・室温を28度にし、施設内は扇風機を設置し極力エアコン使用を控える。・不要なコンセントの引き抜きの励行。・OA機器の管理を徹底する。・長時間の会議の際は、一度シャットダウンしておく。・クールビズ対策の徹底をする。・ポスター等による市民への節電要請。・緑のカーテンの設置。・・など。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	境丿	リクリ	リー:	ノセ	ンタ、	_											
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	8	4							
					₹	1	9	4		0	0	3	6	区ī	† 町	村。	名	東京都町田	市		
事	業所等	等の	所 在	地	町。	名 番	地 下	木曽	東2	-1-	-1										
事	業所等	きのな	正床 面	ī積		1	,354	.23	m^2						責年 用:		の 間	■ 1年度分	}		1年未満
所	有		形	態		自己	所	钉		〕他	1者原	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の-	-部(その	他)
共口	告範囲	の主	たる日	1 1/2		事務	骄					商業	(施	没(物	加販)			商業施設	분(飲	食)	
羊区	口軋四	い土	に公开	1 还		工場	3 7					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	類番	号	8	8	1	2		鎖化	と事 き				直営			□ 加盟店	î		非該当
再の	生可能	ミエン 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ルギ	一電		□ 証書に の利用	よる現	環境征	近
前か	年度の			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 35	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 66	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 13	t
	総計(④=②+③)	^④ 79	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 48.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			12/11		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(10)=(8) × (9) × 44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	び その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
<i>T</i> (1)	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	136,423.0	9.97	1,360.1	0.4890	66.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽⁴⁾ 1,360.1		¹⁵ 66.7
その	そ 水道及び工業用水道			m^3	188.0			0.2660	0.1
他	· ハ ロ 一 1 . ~ - 1 . ~			m^3	33,353.0			0.4000	13.3
	_	合 計							13.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 4 2	フェルドリハコハ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
組織	戦体制の整備				
dar 4	以严帅"之正师				
		D101	ウンユ イマがらは切り せつ/m旧		
エン	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C908	受電力率の把握・記録
	運用対策				
省					
エネ					
ルギ					
7		D204	空調フィルターの清掃・点検	D205	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策			D208	ストレーナやフィルターの清掃
策	 就 佣 体 小 刈 來			D210	コンプレッサの定期点検の実施
		E201	高効率照明ランプの採用(屋内)	E211	ポンプ・ファン等のインバータ制御
	== 115 NA - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	E203	高効率照明器具の採用(屋内)		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の 2030 年度までに、基準年度である 2013 年度比で 46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。2019年3月に改修工事が完了し、省エネルギーを考慮した建物として運用を開始しています。

1 事業所等の概要

事	: 業 彦		の名	称	薬 自	币洲	西少	周										
1	* 1)	1 41	V	√l×1.	K,	ils I 🖂	H 7	z kzi										
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	8	6				
					Ŧ	1	9	4	_	0	0	3	2	区	市町	村:	名 東京都町田市	
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	* 地 下	本町	「田31									
事	業所	等の。	延床面	ī積		1	,029	.18	m^2		業				責年 用:		D 目 1年度分	□ 1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	1所7	钉] 他	1.者页	桁						
報	告	i i	範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の一部	羽(その他)
土口	上然田	I	- -	J 公		事務	新					商業	纟施	没(物	り販)		□ 商業施設(飲食)
半位	告範囲	ゴクノヨ	こだる州	力述		工場	<u>司</u>					複合	施	没			■ その他	
日に	おける	5細:	産業分分類番	号	8	0	5	1	連	鎖化	/事				直営		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	ミエネ	ベルギ	一電	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か	年度		8 告 内 変 更	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 50	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 96	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 92.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	,	田玉 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	74.0	34.60	2.6	0.0183	0.2
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
m	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	194,873.4	9.97	1,942.9	0.4890	95.3
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 1,945.4		95.5
その				m^3	2,090.9			0.2660	0.6
他	- 1 1 1 一十 1 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			m^3	2,057.9	/		0.4000	0.8
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	宝썲状况
-	711, %(V1) IIII F/\(\sigma\)	ロュカロ かと マン	

	<u>地冰価坂化剂外</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	職体制の整備				
<u> </u>	ラルゼー 然の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C109	空室・不在時等の空調停止		
省エネルギ	運用対策				
対策	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	室四	りプ	ール	/														
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	4	3								
	_				Ŧ	1	9	4	_	0	2	0	3	区	市	町	村	名	東京都町田市	î		
事	業所	等の	所 在	土地	町以	名 番	地 下	図卸	5町1													
事	業所等	争の多	延床面	重積		8	,344	.06	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の <u>:</u> _	実績使	漬 4	手,	度明	の 間	■ 1年度分	[□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	引所不	有] 他	者列	斤有										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	・ナン	ント))]建物の一部	郭(そ	その化	也)
扣	告範囲	i n i	ーたスト	日次		事務	所					商業	き施言	没(非	勿郥	į)			〕 商業施設((飲1	食)	
羊区	口軋世	リリノユ	ニバングア	力还		工場	<u>司</u>					複合	产施言	設					●その他			
	本 標 おける	細	分類種	多号	8	0	4	1	連	鎖化	(事業	業区2	分		直	営	店		□ 加盟店		■ ∌	非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギー	−電	ı	□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度らる			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1)	502	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	957	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	36	t
	総計(④=②+③)	4	993	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	114.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	55,569.1	45.00	2,500.6	0.0136	124.7
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
Thi:	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	1,703,401.0	9.97	16,982.9	0.4890	833.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽⁴⁾ 19,483.5		¹⁵ 957.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	55,531.0			0.2660	14.8
他	1 / 11. - 1 / 24			m^3	55,531.0	/		0.4000	22.2
		合 計				/			¹⁶ 37.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
\v_ \	並み割の動法	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
和上前	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	11 47 100 00 10 12				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C301	照明スイッチに点灯範囲を表示
二二				C302	採光を利用した消灯の実施
ネ				C310	中央熱源機器等の季節設定実施
ルギ				C317	その他設備の不使用時の停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	放 佣 休 寸 刈 來	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	以用等八刈水				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有		無		_						
	ベンチマー	ク区分	个		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床)	面積当たり)		kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						
	その他		,	特記事項に	内容を記載						

6 特記事項

主に職員の事務活動から算出される温室効果ガスの排出量削減を全体目標とし、町田市の温室効果ガスの排出抑制のための計画である町田市第5次環境配慮行動計画の目標を参考に、目標年度の2030年度までに、基準年度である2013年度比で46%以上の温室効果ガス排出量を削減することを目指します。指定管理者が管理・運営しています。照明の間引き、日中の照明削減及び消灯、空調の設定温度引上げ、不用な空調の停止、OA機器電源管理の徹底、館内BGM停止、日中のカーテン活用、常用照明のLED化

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	つく	し里	予コミ	ユニ	ティ	ヤン	/ター	-									
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	6	6							
					₹	1	9	4	_	0	0	0	1	区ī	市 町	村。	名 東京	官都町田	市		
事	業所	等 の	所 在	地	町。以	名 番	争 地 下	つく	し野2	2-26	-5										
事	業所等	多の多	延床面	ī積		1	,003	.43	m^2			了等 レギ			責年 用:		か 間	1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己]所	钉] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	√ ト)			車物の−	一部	(その)他)
共口	告範囲	\mathcal{L}	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)			新業施	殳(飲	(食)	
羊区	口軋团	Vノ土	:/このH	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没			I	その他			
に	本標	細り	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	と事 美	美区 2	分		直営	店		加盟原	芋		非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	エネ	ルギ	一電		証書に の利用		環境(面値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 31	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 60	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 60	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 59.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	8,660.3	45.00	389.7	0.0136	19.4
燃料	その他(ガソリン	/)		L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(軽油)			L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
2002	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	66,394.0	9.97	661.9	0.4890	32.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	16,825.0	9.28	156.1	0.4890	8.2
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計					/	1,207.8		60.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	517.0			0.2660	0.1
他				m^3	517.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	批拌泪	暖化対策(7 実 協 出 沿
4	THE TAX (IIII	ᄧᅜᅜᅜᅜᅜ	' J - T- MILAN (7)

4	地球温暖化对策	り大地が		,	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築		
 	織体制の整備				
和上方	は 平 刊 の 登 佣				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握				
	中 4人 7元 77 1日 1年				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	運用対策				
省					
1日 工					
ネ					
ルギ					
7		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	乳烘油				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	町日	日市	バイ	オコ	ニネノ	レギ	ーセ	ンタ	·					
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	8	7				
	_				Ŧ	1	9	4		0	2	0	2	区	† 町	村名	東京都町田市	
事	業所	等 ∅	所在	地	町は以	名 番	* 地下	下小	山田	町3	160番	番地						
事	業所等	等の)	延床面	ī積		24	,830	.00	m^2		業 ア ネ ル				責年 <i>,</i> 用 其			□ 1年未満
所	有		形	態		自己]所	有] 他	1.者所	桁						
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—₽	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一部	羽(その他)
共口	告範囲	I A F	ーたフロ	1 冷		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□ 商業施設(飲食)
羊収	古軋世	リリノゴ	こにつけ	力述		工場	<u>크</u>		□ 複合施設								□ その他	
	本 標 おける	細	分類番	号	8	8	1	6	連	鎖化	と事業				直営		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可育	ピエ 用	ネルキ 状				三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	可能 受入	:エネ 、	ルギー	一電	□ 証書によれ の利用	る環境価値
前か	年度らの		设 告 内 安 更	容点	延床	三面積	う の増	加										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	160	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	322	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	16	t
	総計(④=②+③)	4	338	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	12.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		四重4小川	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
.[+].	都市ガス			Nm^3	93,068.1	45.00	4,188.1	0.0136	208.8
燃料	その他(ガソリン	/)		L	1,309.0	34.60	45.3	0.0183	3.0
及	その他(灯油)			L	1,513.0	36.70	55.5	0.0185	3.8
び 熱	その他(軽油)			L	15,303.0	37.70	576.9	0.0187	39.6
75%	その他(その他)	「燃性天然ガス)		Nm3	0.0	43.50	0.0	0.0139	0.0
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	136,610.0	9.97	1,362.0	0.4890	66.8
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	〔の場合のみなしん	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 6,227.8		⁽¹⁵⁾ 322.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	32,143.0			0.2660	8.6
他	公共下水道			m^3	19,863.0	/		0.4000	7.9
		合 計							16.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
∜□ ⟨	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
形土 7	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
省				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
エ				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
ネ				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ					
1		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	放 佣 体 寸 刈 束	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以 畑 等 八 刈 來			E135	エレベータのインバータ制御
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有		無		_		
	ベンチマー	ク区分	个		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床)	面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他		,	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	大龍	蔵保	育園	ŧ.													
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3		0	0	8	8							
					Ŧ	1	9	5		0	0	6	2	区	市町	村:	名」	東京都町田	市		
事	業所	等 0	所 在	地	町以	名 番	地 下	大蔵	5町19												
事	業所等	等の)	延床面	ī積		1	,082	.69	m^2		業			実 着 · 使	責 年 用 ‡	度 (期	の 間	■ 1年度	分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所不	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	テナン	/ト)			建物の一	一部	(その)他)
共口	告範囲	1 M -	ーたフロ	1 1/2		事務	所					商業	纟施言	设(物	勿販)			商業施調	没(飲	(食)	
半区	古軋世	リクノゴ	こにつけ	一述		工場	<u>크</u>					複合	施	設				その他			
	おける	6細		: 号	8	5	3	1	連	鎖化	と事 美				直営			□ 加盟原	吉		非該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	ミエネ	ベルギ	一電		□ 証書に □ の利用		環境(面値
前か	年度らる		设	容点	新規	Ł															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 30	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 58	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 59	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 53.5	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	5,507.0	45.00	247.8	0.0136	12.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	95,113.0	9.97	948.3	0.4890	46.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,196.1		58.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,673.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,673.0	/		0.4000	1.1
		合 計				/			1.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	宝썲状况
-	711, %(V1) IIII F/\(\sigma\)	ロュカロ かと マン	

<u> </u>	地球温暖化对床	く・フラベル回り	重点対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		747K m 3	MAKE),1)/(E	ЛУК-П
組糸	織体制の整備				
		D101	L > 1 Ale 2 1 + 40 > - + t = 0 1 = 10	D100	
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策				
省工					
ネルギ					
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無					
	ベンチマーク区分	ランク C	CO ₂ 削減率(前年度比) %			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり	$kg-CO_2/m^2$ C	CO ₂ 排出量(総量) t			
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	鶴間	引公	園													
事	業	所	番	号	А	0	9	5	3	_	0	0	8	5						
					Ŧ	1	9	4	_	0	0	0	4	区	市町	村	名	東京都町田市		
事	事業所等の所在地				町 名 番 地 鶴間3-1-1															
事	業所等	争の	延床面	ī積			554	.10	m^2			了等 レギ			責年 用		の 間	■ 1年度分		1年未満
所	有		形	態		自己	別所不	j] 他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	产部		〕建	物の)一岩	部(ラ	ーナン	/ト)			〕建物の一部	(その	他)
也	生	\mathcal{L}	ーたスH	用途		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)														
和	口型	V ノ ゴ	土にる州			□ 工場 □ 複合施設 ■ その他														
に	本標	細	分類番	: 号	8	0	5	1	連	鎖化	(事)	美区 2	分		直営	店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	: 況			可能 設備		ルギ 置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書によるの利用	環境促	面值
前か	年度らの		设 告 内 変 更	容点	再追	加														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 37	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 73	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 128.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

						4.4.10	熱量		炭素排出量
燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
	都市ガス		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	你致 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	429.2	45.00	19.3	0.0136	1.0
燃料	その他(ガソリン	/)		L	118.5	34.60	4.1	0.0183	0.3
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 電 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	142,673.8	9.97	1,422.5	0.4890	69.8
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,445.9		71.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,002.5			0.2660	0.5
他				m^3	3,670.0	/		0.4000	1.5
		合 計							2.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	宝썲状况
-	711, %(V1) IIII F/\(\sigma\)	ロュカロ かと マン	

	<u>地冰価坂化剂外</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	職体制の整備				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C109	空室・不在時等の空調停止		
省エネルギー対	運用対策	D101			
	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	■ 有 □ 無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	9	%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t	t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項